

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 12日

事業所名 摂津市立つくし園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	89%	11%	施設基準に沿ったスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	施設基準に沿った保育士・児童指導員を確保していますが、事業よってのアンバランス差があるため、職員間で連携を図っています	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	67%	33%	視覚支援を用いると共に、室内を整理整頓し、利用児にとってわかりやすい空間を作ると共に、席の配置なども子どもに合わせて工夫を行っていますが、建物の構造上難しいところもあるので、さらに工夫を続けます。施設玄関等の掲示板に必要な情報を掲示するようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	67%	33%	保育・療育終了後の掃除、消毒液を使用した拭き掃除、大掃除等を全職員で行い、気持ちよく利用していただけるよう心掛けています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	56%	44%		毎朝夕の全職員による打ち合わせ会議、月1回の正規職員による職員会議、各事業ごとの会議を実施し、業務改善につなげています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	78%	22%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	78%	22%		職員間で共有すると共に、ホームページに掲載しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	89%	11%		福祉サービスの第三者評価を受審し、業務改善につなげています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		研修案内を掲示し職員に周知し、適宜参加を呼び掛けています。年数回、職員による勉強会を実施すると共に、法人全体研修にも積極的に参加を促しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		個人面談等で保護者ニーズを聞くと共に、保育士、児童指導員、PT.OT.STで子どもを評価し意見交換をするるとともに、子どもに応じて公認心理師による発達検査を実施し、結果を共有しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	67%	33%		児童に応じた標準的な発達検査を実施し、子どもの状態把握を行っています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		事業内だけでなく「家族支援」「地域支援」等について、月1回のクラス面談、随時の個別面談を実施し、絶えず相談しやすい体制をとっています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		子どもの状況・様子を見ながら支援計画を作成し、適宜見直しを行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		日々職員同士で話し合いを行い、活動内容を見直し、さらに工夫を重ね計画を立てています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	89%	11%		年長児を対象に就学に向けたトレーニング(作業療法訓練)を実施しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	クラス担当職員全員で毎朝打ち合わせを行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	78%	22%	担当した職員で振り返りを行い、報告及び検討を行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	67%	33%	毎日、保育日誌を記入すると共に、適宜個人記録も記入しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	78%	22%	定期的なモニタリングおよび、保護者が来園されたときに家庭での状況、保護者の意向を確認し、必要に応じて支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	89%	11%	当園で相談支援事業を実施しているため時間調整をして行っています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	随時連携を図り情報共有を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	89%	11%	必要に応じて茨木保健所、摂津市出産育児課と連携をはかり、子どもの状況、家族の状況を確認し、支援にあたっています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	移行支援として、保護者同意のもと事前に資料による引継ぎを行い、後日来園、訪問で丁寧な引継ぎを行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、書面での開催となりましたが、電話等により連携を図るようしました。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	33%	67%	現在園として交流や活動は設定していませんが、保護者ニーズもあるため検討していきたいと思います。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%	摂津市の子育て支援ネットワーク推進会議、自立支援会議に参画し、連携を図っています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	89%	11%	連絡ノートで毎日家庭での様子や園での様子を伝え、必要に応じて電話連絡を行っています。 個人懇談等で園と家庭での様子を共有しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	89%	11%	クラス面談時に、保護者の意見交換を行ない、保護者の悩みに寄り添いともに解決方法を探るなど、子育てのヒントとなるような取り組みを行っています。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	入園前に行うようにすると共に、閲覧できる様玄関に設置しています。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	支援内容、計画について保護者に書面や日頃の取り組みの説明を行い、その時に保護者の意見も聞き必要に応じて、追記、訂正を行い、その後同意を得るようにしています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	定期的な面談だけでなく、来園時等に面談の時間を設け助言等を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	44%	56%	保護者会はありませんが、参観・懇談等に保護者が集まる機会を設け、意見交換できる場としています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	職員で連携を図り迅速に対応できる様心がけています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	園だよりを毎月発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	職員間で繰り返し確認を行い、取り扱いに注意を払っています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	子どもに向けては、個々の特性に合わせて伝え方に工夫しており、保護者に対してもわかりやすく説明するようにしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	44%	56%	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実行することは出来ませんでしたが、今後は積極的に地域に開かれた施設作りを目指します。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	89%	11%	職員に対して各マニュアルの周知を行い、保護者には感染症等の注意文書等を配布しています。また、利用開始時に説明を行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	89%	11%	様々な状況を想定した訓練を毎月実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	入園時、面談時等で情報を得、確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	医師からの指示のもと保護者から除去食の申請をしてもらっており、毎月保護者に給食内容を事前に確認してもらっています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	89%	11%	ヒヤリハットや事故については、終礼時や回覧等で職員全体で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止研修を受講すると共に、会議等で職員が意見交換する時間を持っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	67%	33%	身体拘束について考える機会を持ち、緊急時以外は行うことがない様、職員で確認し療育・支援を行っています。支援計画に記載しておらず、口頭での説明になっています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。